

第3回 ジュニアヨットクラブジャンボリー2015 実施報告書

実行委員長 山下 弘雄 (一社) 日本ジュニアヨットクラブ連盟委員

1. 概要

2013年4月1日に新たに一般社団法人として旅立ちをした(一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下JJYUと云う)は、ジュニアセーラーを抱える全国のジュニアクラブの普及活動の一環として毎年「ジュニアヨットクラブジャンボリー」を実施しています。

例年、夏休み期間中の 8 月に開催しておりましたが、今年は国際交流日本ジュニアョットクラブ競技会が8月に宮古で開催される為、5月のゴールデンウィークに変更しました。第3回目となりますが、5月3日(日)~5日 (火)に例年と同じ静岡県浜名湖畔にある静岡県立三ヶ日青年の家で、2泊3日の合同合宿、合同練習会形式で開催しました。





今回も①水辺スポーツに親しみ・楽しむ ②若手コーチ指導による競技力向上を図る ③時間を守り、皆で準備と後片づけを行ない、挨拶をきちんと行う④遠方や艇を運べないクラブに対して新たに乗り回し艇を準備して気軽にヨットに乗れることを狙いとしました。

特筆すべきは、①会場の三ヶ日青年の家には宿泊設備が完備していること、②水辺を楽しめる機材であるカヌー、スタンドアップパドルボート(通称SUP)、 $6\sim8$ 人乗りカッター、多種ヨットが充実していること、③安全に活動するための救助艇になるゴムボート、モーターボート数艇が完備されていることなどです。最大の魅力は、無風や微風が予想されても、セーリングに適した風力になれば直ぐ練習を開始出来て、初級者でもセーリング出来る防波堤で囲まれたハーバーがあるため、色々な遊び方が出来る場所であることです。

2. 参加者

参加クラブは以下の通りです。

1	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア		選手		2名	指導者•保護者	2名
2	夢の島ヨットクラブ		選手		6名	指導者•保護者	4名
3	横浜ジュニアヨットクラブ		選手		3名	保護者	3名
4	横浜市民ヨットハーバージュニア		選手		1名		
(5)	藤沢市青少年セーリングクラブ		選手		4名	保護者	5名
6	江東区立小中学校セーリング部		選手		5名	保護者・同伴者	5名
7	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアヨットクラブ		選手		1名		
8	なごやジュニアヨットクラブ		選手		4名	保護者	3名
9	三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ		選手	1	2名	指導者·保護者	5名
10	鳥取県ジュニアヨット協会		選手		1名	指導者·保護者	3名
11)	JJYU理事・委員	6名	(2名	は	クラブ	指導者としてカウン	/ト)

② J J Y U 指定ヤングコーチ3名

以上参加クラブ10クラブ、選手39名、指導者・保護者・同伴者30名、役員・コーチ9名、総勢78名の参加者が集合しました。

3. ご協力

このジュニアヨットクラブジャンボリーは、大塚製薬株式会社様よりスポーツドリンク『ポカリスウェット』の無償提供、NPOマリンプレイス東京様よりOP級ヨットを乗り回し艇としての提供、ビーチスマリーナ様よりレーザー級ヨットの提供、日本OP協会様よりクラス分け用のリボン多数の提供を受けました。特に、三ヶ日青年の家様より運営艇、回航マーク、ライフジャケットの無償提供を受けましたことに深く感謝いたします。





現地では、ヤングコーチとして神谷花実さん(静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアョットクラブ出身)、 堤ひなたさん(藤沢市青少年セーリングクラブ出身)、神谷仁さん(静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアョットクラ ブ出身)や川戸仁さん(三重県ョット連盟ジュニア・ユースョットクラブ)、菅野輝郎さん(夢の島ョットクラブ) はじめ多くのクラブ指導者にお世話になりました。

今回の運営は、JJYU側からの中川常務理事、内藤理事、井上理事、野村委員及び葛西委員のほか岩井一樹さん(三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ)に大変お世話になりました。

本当にご協力ありがとうございました。







堤ひなたコーチ

川戸コーチ

神谷花実コーチ

菅野さん



神谷仁コーチ









中川常務理事

岩井一樹さん

井上理事

野村委員







実行委員長 山下 弘雄

4. 実施内容

5月3日(日)第1日目

ジャンボリー初日は晴天、全国のジュニアクラブから自家用車、トラックやトレーラーでヨットやレスキュー艇を運びこみ集合。皆で協力して大会の準備、乗り回し艇の準備を行い、大会受付を終了後11時より開校式、入所式及びオリエンテーションを行いました。オリエンテーションでは三ヶ日青年の家のスタッフがこの研修センターの利用方法を説明し、他団体の紹介を行いました。まず、大事なことは「三ヶ日青年の家」は研修センターであり、ホテルや旅館とは違うという事です。館内はスリッパを利用し、トイレのスリッパは使ったら綺麗に並べる事。部屋に入るときもスリッパをきちんと並べて入る事。入浴後も椅子や桶を綺麗に整頓して出る事、食事後は綺麗にテーブルを拭く等当たり前のことをきちんと行う事の説明を受け、団体生活での注意を受けました。

昼食後、上級(青色リボン)、中級(緑色リボン)、初級(黄色リボン)、レーザー級(リボンなし)、乗り回し班 (赤色リボン) の5班に分け練習しました。

- ① 上級クラス:神谷仁さん、菅野輝郎さん、中川常務理事が指導
- ② 中級クラス:堤ひなたさんと内藤理事が指導
- ③ 初級クラス:神谷花実さん、野村委員が指導
- ④ レーザークラス:川戸仁さんが指導
- ⑤ 乗り回しクラス:コーチは山下委員と保護者のお手伝いで指導
- の5班に分かれて練習しました。

練習後、部屋割りが行われ男子選手25名は全員和室1へ、女子選手14名は全員和室2へ、指導者・保護者・ 役員・コーチは本館から離れたログハウス6棟に分散しました。

午後5時30分からの「夕べのつどい」では、三ヶ日青年の家を利用している各団体の紹介とお互い親しくなる ためのゲームが行われ、皆が打ち解けることができました。

午後6時夕食、6時30分から7時まで入浴、7時10分から今後のスケジュールの説明が岩井さんよりあり、 その後選手は5班に分かれ今日の練習の反省を中心にミーティングを行いました。保護者は別室にて、自己紹介を 兼ねて意見交換を中川常務理事を中心にミーティングを行いました。

午後10時30分消灯し初日を終了しました。



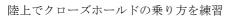


ミーティング

出廷前の準備

スロープからいざ出廷







続いてポンド内でクローズホールドを反復練習(いずれも初級クラス)







4日(月)第2日目

朝から天気予報通りの小雨。6時30分起床。7時10分から「朝のつどい」に全員集合。雨天の為場所を体育館に変更し、各団体の子どもによるスピーチと全員でのラジオ体操を行いました。その後三ヶ日青年の家のスタッフからゲームの説明があり、全員で大声をあげながら遊びました。なかなか子供たちを遊ばせるのに慣れているなと感心しました。

7時40分より朝食、各テーブルとも、汚したら必ず各自雑巾で拭ききれいにし、床も汚したら床掃除をするというルールをしっかり守っていました。



午前中は予報通り、無風状態でしたので、ハーバー内で全員参加のSUP(サップ)、カヌー遊び、大騒ぎです。 ハーバーに大きな笑い声とはしゃぐ声が乱れて飛び交い、それぞれが勝手に遊びを見つけて大興奮でした。

その後も無風状態が続くので、皆で潮干狩りをすることにしました。まだ干潮ではないので、岸から10m以上沖にでて、首まで水に浸かった連中がバケツ一杯のアサリを取り、山盛りのアサリ取りになりました。

砂抜きをして明日食べることになりました。



ヨットはそっちのけでのカヌーやSUP体験に子どもたちの歓声が響きます



カヌーやSUPに飽きたらアサリ取りに夢中!

雨の中で活動したため、昼食を食堂では食べることが出来ないので、三ヶ日青年の家のご厚意により、保護者の皆さんが食堂から食事を運ぶことで、選手たちは外(出会いの広場)にあるテーブルで食べることにしました。

午後になると段々風力が上がって来たので、昨日と同様5班に分かれ練習を行いました。練習後は、JJYU井上理事さんのつくったおいしい野菜スープがふるまわれ、冷えた身体をあたためることができました。



屋外での昼食の味は格別だね



中級クラス以上は湖上でのトレーニングを行いました



まずは陸上でランニングの基本を反復練習。少し風が出てきたのでポンド内へ(いずれも初級クラス)



練習後は井上さん特製の野菜たっぷりのスープが冷えた体を温めてくれました

夜はキャンプファイヤーの予定でしたが、雨が益々強くなり中止しました。代わりは山下委員による『ジュニアョットの歌』の指導です。三ヶ日青年の家からCDプレイヤーをお借りし、CDの歌を聞いた後山下委員のウクレレに合わせて大声で歌いました。

その後、昨日に続き各班のミーティングが行われました。特に、上級コースでは神谷仁君が中心になり解説をしていましたが、ミーティング全体を仕切っていた夢の島ョットクラブの父兄でありコーチでもある菅野さんの指導ぶりには感心しました。また他の班の若手コーチも参加し、自分たちの体験に基づくアドバイスをしており、子どもたちにとって非常に有意義なミーティングであったと思いました。

ミーティング後、保護者と指導者はログハウスで懇親会を行い、充実したひと時をすごしました。



山下委員はウクレレの名手でした



5日(火)第3日目、最終日

6時30分起床。晴天なので、7時10分から出会いの広場で「朝のつどい」を行いました。朝食後、帰り支度 の為に全員の荷物を研修室に集め、ヨットに乗れる姿で集合、ブリーフィングを行いました。

最終日は風が強く、限られたコーチボートでのレスキュー体制を確保する必要もあり、OPの初級、中級、上級を中上級に分けた4班に組み分けし練習しました。

練習後は、やはり井上理事さんが料理してくださった昨日採ったアサリの貝汁と素麺がふるまわれました。

昼食を済ませるとあとは帰りの支度です。皆で協力しながら積み込み作業を行いました。

レーザーを返却し、乗り回しのOPをトラックに積み込む際、多くの保護者の皆さんにお手伝いを頂き、感謝に堪えません。

午後2時30分より閉会式を行い、JJYU中川常務理事のスピーチで全てのプログラムを終了致しました。 最後に、参加者全員で記念写真を撮り、夏の宮古の国際交流競技会での再会を約束して解散しました。



5. 終わりに

各ジュニアクラブ皆で一緒に合宿をしようという企画の3年目でした。関係団体の協力で何とか実現できました。 参加選手が水辺スポーツを楽しみ、安全な練習が出来、ゴールデンウィークの思い出として有意義な体験が出来感 謝しております。

子供達を育てるとの観点から来年も実施する予定ですが、参加する選手・保護者が一緒にこのジャンボリーに参加しながら、JJYUが主導で育てていく環境を作っていきたいと思います。

以上

